

2019年度 公益財団法人日本音楽教育文化振興会
事業報告
(2019年4月1日から2020年3月31日迄)

公1事業：音楽に関する学習機会を提供する事業

名 称：No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

内 容：東京音楽学校同声会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施。1948年（昭和23年）から72年間の実績をもとに今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。

報 告：2019年度は「音楽のすべて音楽通論」のテキスト改訂に向けて、理事の松尾祐孝氏を中心に本通信教育添削員の佐藤旬氏・首藤健太郎氏・星出和宏氏とともに改訂下案からテキスト制作及び校正作業を行った。2020年度はテキスト制作及び校正作業を行い、文部科学省生涯学習局に改訂案を提出し審査及び指導を受ける。

名 称：No. 2 「楽譜検定」

内 容：楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

運 営：①ホームページ及び試験システムの運営

本検定の入口となるホームページ及び試験システムを運営

楽譜を学ぶことの意義を啓蒙し受験を促す。試験方式はインターネット・オンライン上で実施するものとし、24時間、365日、何時でも何処でも、学び、試験を受けられる体制を整え、設問の作成、継続的な更新作業、受験者情報の管理を含む、検定実施に係る一切の運営を行う。

②楽譜検定のグレードについて

開始当初は10級から2級までのグレードを設置する。10～8級は初学者向け、7～5級は中級者向け、4～2級は高等知識を問う内容とし、将来的には作品審査を伴う1級やそれ以上のグレードの設置も検討する。

③プロモーション活動

各種音楽イベントにおいてリーフレットの配布などのプロモーション活動を行う。

楽譜を学ぶための支援活動音楽や楽譜を学ぶ際に有用な参考テキストや教育機関を紹介するなど、視野の広い情報提供を行う。

公2事業：音楽に関する発表機会を提供する事業

名 称：No. 3 「日本管打楽器コンクール」

目 的：このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器（12 楽器部門）の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。尚、各開催楽器部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞・東京都知事賞をそれぞれ授与、特別大賞演奏会にて特別大賞受賞者に内閣総理大臣賞（予定）を授与する。

内 容：「2019年度 第36回日本管打楽器コンクール」（開催）

実施楽器部門：クラリネット・ファゴット・トランペット・テューバ

■クラリネット部門（定員：230名）

会 場 国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

第一次予選 8月19日（月）～21日（水）

第二次予選 8月23日（金）

本 選 8月24日（土）

■ファゴット部門（定員：120名）

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（東京都文京区本郷4-15-9）

第一次予選 8月19日（月）～20日（火）

第二次予選 8月22日（木）

本 選 8月24日（土）

■トランペット部門（定員：230名）

会 場 東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（東京都目黒区上目黒1-9-1）

第一次予選 8月19日（月）～21日（水）

第二次予選 8月23日（金）

本 選 8月24日（土）

■テューバ部門（定員：140名）

会 場 昭和音楽大学（神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1）

第一次予選 8月19日（月）～20日（火）

第二次予選 8月22日（木）

本 選 8月24日（土）

■特別大賞演奏会及び表彰式 8月30日（金）18:00 開演

会 場 文京シビックホール 大ホール（東京都文京区春日1-16-21）

共 演 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

指 揮 山下 一史

運営役員：運営委員長 尾高 忠明（NHK交響楽団正指揮者）
運営副委員長 青木 明（名古屋芸術大学名誉教授）
運営副委員長 吉井 實行（公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事）
運営副委員長 松尾 祐孝（本公益財団理事）

運営実行委員長	石渡 悠史	(本公益財団理事)
運営実行副委員長	井上 順平	(日本トロンボーン協会顧問)
運営委員	武田 忠善	(クラリネット部門審査委員長/国立音楽大学学長)
運営委員	霧生 吉秀	(ファゴット部門審査委員長/日本ファゴット協会会長)
運営委員	津堅 直弘	(トランペット部門審査委員長/東京音楽大学教授)
運営委員	柏田 良典	(テューバ部門審査委員長/日本ユーフォニアム・テューバ協会副理事長)
運営事務局長	尾上 将己	(本公益財団常務理事)

後 援：内閣府、文部科学省、外務省、ドイツ連邦共和国大使館、中華人民共和国駐日本国大使館
 文化部、駐日韓国大使館 韓国文化院、東京都、目黒区、文京区、文京区教育委員会、立
 川市、立川市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協
 議会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日
 本音楽著作権協会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、
 東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟

特別協力：国立音楽大学、東京音楽大学、昭和音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校

協 力：一般社団法人日本クラリネット協会、日本ファゴット（バスーン）協会、日本トランペ
 ット協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会

協 賛：東京藝術大学、京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、武蔵野音楽
 大学、東邦音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、尚美学園大学、上野学園大学、名古屋芸
 術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト
 音楽大学、平成音楽大学、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、日本ダブルリード
 株式会社、株式会社グローバル、株式会社ビュッフェ・クランポン・ジャパン、株式会
 社フォトライフ、株式会社ヤマハミュージックジャパン、GVIDO MUSIC 株式会社、一般
 財団法人東方文化支援財団、きらぼし銀行春日町支店、株式会社ドルチェ楽器、プレー
 ン株式会社、株式会社石森管楽器、株式会社セントラル楽器、株式会社JTB、株式会
 社図書出版、野中貿易株式会社、フォックスウインズ株式会社

報 告：本選審査結果（入賞者）

■クラリネット部門

第1位	佐藤 拓馬	(国立音楽大学卒)
第2位	鳥潟 さくら	(パリ6区ジャン＝フィリップ・ラモー音楽院在学)
第3位	山下 美緒	(ジュネーブ高等音楽院卒)
入 選	野田 祐太郎	(洗足学園音楽大学卒)
入 選	山下 優輝	(北九州市消防音楽隊)

■ファゴット部門

第1位	大内 秀介	(日本フィルハーモニー交響楽団)
第2位	金田 直道	(武蔵野音楽大学卒)
第3位	村中 宏	(京都市交響楽団)
入 選	安井 悠陽	(日本センチュリー交響楽団)
入 選	鈴木 一成	(神奈川フィルハーモニー管弦楽団)

■トランペット部門

第1位	三村 梨紗	(東京藝術大学在学)
第2位	河原 史弥	(東京佼成ウインドオーケストラ)
第3位	浦井 宏文	(洗足学園音楽大学卒)
入選	平山 あかり	(東京藝術大学在学)
入選	福永 亜実	(札幌大谷大学在学)

■チューバ部門

第1位	若林 毅	(尚美ミュージックカレッジ専門学校非常勤講師)
第2位	竹林 優生	(京都市立芸術大学卒)
第3位	夏目 友樹	(チューリッヒ芸術大学在学)
入選	石丸 菜菜	(東京藝術大学大学院卒)
入選	田村 相円	(国立音楽大学在学)

■第1位入賞者：【文部科学大臣賞・東京都知事賞】

クラリネット部門	佐藤 拓馬	(国立音楽大学卒)
ファゴット部門	大内 秀介	(日本フィルハーモニー交響楽団)
トランペット部門	三村 梨紗	(東京藝術大学在学)
チューバ部門	若林 毅	(尚美ミュージックカレッジ専門学校非常勤講師)

■特別大賞：【内閣総理大臣賞】

トランペット部門	三村 梨紗	(東京藝術大学在学)
----------	-------	------------

■別賞：【東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 特別賞】

ファゴット部門	大内 秀介	(日本フィルハーモニー交響楽団)
---------	-------	------------------

■別賞：【特別大賞演奏会 聴衆賞】

トランペット部門	三村 梨紗	(東京藝術大学在学)
----------	-------	------------

名 称：No. 4 「日本管楽合奏コンテスト」

目 的：管打楽器及び吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行うとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯学習における我が国の管打楽器及び吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

- ① 「独自のサウンド」の研究を行う。
- ② 管打楽器合奏を主体として、同属楽器アンサンブル・声楽・電子楽器・弦楽器との融合について研究を行う。
- ③ 時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。
- ④ 全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

内 容：「2019年度 第25回日本管楽合奏コンテスト」(開催)

予選審査会

2019年9月23日(月祝)～27日(金) <非公開>

全国大会

2019年10月26日(土) 中学校B部門

2019年10月27日(日) 高等学校B部門
2019年11月02日(土) 中学校A部門
2019年11月03日(日) 小学校部門
2019年11月04日(月祝) 高等学校A部門
2019年11月17日(日) 中学校S部門・高等学校S部門

会場：予選審査会／学校法人尚美学園教室
全国大会／文京シビックホール大ホール、尚美バリオホール（S部門のみ）

主催：公益財団法人日本音楽教育文化振興会

共催：公益財団法人文京アカデミー、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

後援：内閣府、文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、
一般社団法人全日本吹奏楽連盟

特別協力：尚美ミュージックカレッジ専門学校

協賛：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社エムアイセブンジャパン、株式会社音楽之友社、株式会社フォトライフ、株式会社JTB、チャコット株式会社、株式会社東京ハッスルコピー、ブレーン株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、ローランド株式会社

大会役員：大会顧問 煙山 力 (元文京区長)
大会会長 赤松 昌代 (本公益財団理事長)
大会副会長 小澤 俊朗 (本公益財団理事)
運営委員長 石田 修一 (本公益財団理事)
運営副委員長 後藤 洋 (一般社団法人日本管打・吹奏楽学会理事)
運営事務局長 尾上 将己 (本公益財団常務理事)

運営委員会は、運営委員長の石田修一氏（本公益財団理事）を中心とし、小澤俊朗氏（本公益財団理事）の協力のもと、2019年9月23日（月）から27日（金）に予選審査会が行われた。7部門のうち、小学校部門33団体、中学校S部門16団体、中学校A部門36団体、中学校B部門31団体、高等学校S部門16団体、高等学校A部門36団体、高等学校B部門31団体を選出した。また前回の最優秀グランプリ賞受賞団体（5団体）に対して、特別演奏及び特別表彰の機会を設けた。

報告：全国大会結果

■中学校B部門

□文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

日進市立日進西中学校

□最優秀賞

秋田市立山王中学校、柏市立豊四季中学校、朝霞市立朝霞第一中学校、
柏市立酒井根中学校、松戸市立小金中学校、習志野市立第四中学校、
越谷市立大相模中学校、松戸市立小金南中学校、日進市立日進西中学校、
松戸市立第二中学校、横浜市立中山中学校

□審査員特別賞

秋田市立山王中学校、習志野市立第四中学校

□ブレーン賞

- 長野市立裾花中学校
- フォトライフ賞
 - 宝塚市立宝梅中学校
- ヤマハ賞
 - 浜松市立積志中学校
- 高等学校B部門
- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
 - 柏市立柏高等学校
- 最優秀賞
 - 静岡県立浜松北高等学校、秋草学園高等学校、京都府立京都すばる高等学校、作新学院高等学校、東京都立片倉高等学校、千葉県立幕張総合高等学校、富山県立高岡商業高等学校、北海道旭川商業高等学校、花咲徳栄高等学校、甲子園学院中学校・高等学校、春日部共栄高等学校、柏市立柏高等学校
- 審査員特別賞
 - 千葉県立幕張総合高等学校、北海道旭川商業高等学校
- ブレーン賞
 - 神奈川県立横浜緑園高等学校
- フォトライフ賞
 - 呉市立呉高等学校
- ヤマハ賞
 - 東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部
- 中学校A部門
- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
 - 東金市立東金中学校
- 最優秀賞
 - 江戸川区立鹿本中学校、小平市立小平第六中学校、流山市立北部中学校、南相馬市立原町第一中学校、青梅市立第三中学校、真岡市立真岡東中学校、大阪市立梅香中学校、茅ヶ崎市立西浜中学校、松戸市立第六中学校、川崎市立富士見中学校、香芝市立香芝中学校、東金市立東金中学校
- 審査員特別賞
 - 松戸市立第六中学校、香芝市立香芝中学校
- バンドジャーナル賞
 - 大阪市立梅香中学校
- ブレーン賞
 - 十和田市立三本木中学校
- フォトライフ賞
 - 深川市立深川中学校
- ヤマハ賞
 - 宇都宮市立陽東中学校
- 小学校部門
- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
 - 柏市立柏第二小学校
- 最優秀賞
 - 柏市立柏第三小学校、武蔵野市立第一小学校、習志野市立東習志野小学校、さいたま市立大宮南小学校、相模原市立谷口台小学校、坂城町立南条小学校、船橋市立葛飾小学校、精華町立東光小学校、柏市立柏第二小学校、関西創価小学校、習志野市立実花小学校、我孫子市立我孫子第四小学校

- 審査員特別賞
武蔵野市立第一小学校、精華町立東光小学校
- ブレイン賞
さいたま市立つばさ小学校
- フォトライフ賞
高根沢町立阿久津小学校
- ヤマハ賞
仙台市立榴岡小学校
- 高等学校A部門
- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
慶應義塾志木高等学校
- 最優秀賞
千葉日本大学第一高等学校、千葉県立八千代高等学校、三重県立相可高等学校、
東京立正高等学校、京都産業大学附属高等学校、帝京長岡高等学校、
鶴岡東高等学校、松戸市立松戸高等学校、富山県立富山工業高等学校、
神戸星城高等学校、慶應義塾志木高等学校、山村国際高等学校
- 審査員特別賞
鶴岡東高等学校、富山県立富山工業高等学校
- バンドジャーナル賞
岐阜県立各務原高等学校
- ブレイン賞
神奈川県立相模田名高等学校
- フォトライフ賞
東京都立白鷗高等学校
- ヤマハ賞
岩倉高等学校
- 中学校S部門
- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
青梅市立吹上中学校
- 最優秀賞
青梅市立第六中学校、東海大学付属大阪仰星高等学校中等部、久慈市立久慈中学校、
青梅市立吹上中学校、川本町立川本中学校、
いの町立伊野中学校・いの町立伊野南中学校
- 審査員特別賞
いの町立伊野中学校・いの町立伊野南中学校
- バンドジャーナル賞
玉野市立日比中学校
- ブレイン賞
室蘭市立港北中学校
- フォトライフ賞
郡山市立喜久田中学校
- ヤマハ賞
愛別町立愛別中学校
- 高等学校S部門
- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
秋田県立能代西高等学校
- 最優秀賞

永島学園松江西高等学校、仙台城南高等学校、秋田県立能代西高等学校、
関西高等学校、旭川龍谷高等学校、山梨県立富士河口湖高等学校

審査員特別賞

関西高等学校

バンドジャーナル賞

山梨県立富士河口湖高等学校

ブレーン賞

茨城県立水海道第二高等学校

フォトライフ賞

奈良文化高等学校

ヤマハ賞

宮城県登米総合産業高等学校

■特別演奏及び特別表彰

中学校B部門：松戸市立第四中学校（千葉県）

中学校A部門：船橋市立高根中学校（千葉県）

小学校部門：柏市立酒井根東小学校（千葉県）

高等学校B部門：大阪桐蔭高等学校（大阪府）

高等学校A部門：東海大学菅生高等学校（東京都）

名 称：No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

目 的：全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

内 容：「2019年度 第22回日本ジュニア管打楽器コンクール」（開催）

開催部門：ソロ部門（12楽器の部）／アンサンブル部門（木管の部・金管の部・打楽器の部）

コ ー ス：小学生コース／中学生コース／高校生コース

実施楽器：フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・チューバ・パーカッション・マリimba

演奏曲目：予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

演奏時間：ソロ部門 小・中学生コース5分以内。高校生コース6分以内。

アンサンブル部門 小・中・高校生コース5分以内。

受付期間：2020年01月08日（水）～01月31日（金）まで

予選考会：2020年02月15日（土）～02月16日（日）＜非公開＞

会 場：尚美ミュージックカレッジ専門学校 教室（東京都文京区本郷4-15-9）

本選考会：ソロ部門 ＜公開審査＞

会 場：国立音楽大学 新一号館内スタジオ（東京都立川市柏町5-5-1）

2020年3月21日（土）

ソロ部門：マリimba・ホルン・チューバ・ユーフォニアム／会場：スタジオ（128）

アンサンブル部門：木管の部／会場：スタジオ（142）

2020年3月22日（日）

ソロ部門：クラリネット・サクソフォーン／会場：スタジオ（128）

アンサンブル部門：打楽器の部・金管の部／会場：スタジオ（142）

2020年3月23日(月)

ソロ部門：フルート・オーボエ・ファゴット／会場：スタジオ(128)

ソロ部門：パーカッション・トランペット・トロンボーン／会場：スタジオ(142)

後援：内閣府、文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、立川市、立川市教育委員会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、北海道吹奏楽連盟、北海道函館地区吹奏楽連盟、北海道札幌地区吹奏楽連盟、北海道空知地区吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、北海道北見地区吹奏楽連盟、北海道釧路地区吹奏楽連盟、北海道帯広地区吹奏楽連盟、北海道留萌地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、福島県吹奏楽連盟、東関東吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、茨城県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、西関東吹奏楽連盟、群馬県吹奏楽連盟、山梨県吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、東京都高等学校吹奏楽連盟、東海吹奏楽連盟、愛知県吹奏楽連盟、三重県吹奏楽連盟、岐阜県吹奏楽連盟、長野県吹奏楽連盟、福井県吹奏楽連盟、関西吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、京都府吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、滋賀県吹奏楽連盟、広島県吹奏楽連盟、岡山県吹奏楽連盟、鳥取県吹奏楽連盟、島根県吹奏楽連盟、四国吹奏楽連盟、香川県吹奏楽連盟、高知県吹奏楽連盟、愛媛県吹奏楽連盟、徳島県吹奏楽連盟、九州吹奏楽連盟、福岡県吹奏楽連盟、福岡吹奏楽連盟

特別協力：国立音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校

協力：一般社団法人日本フルート協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット(バスーン)協会、一般社団法人日本クラリネット協会、一般社団法人日本サクソフォーン協会、日本トランペット協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会、日本マリimba協会

協賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社ドルチェ楽器、株式会社こおろぎ社、東京ミューズ・アカデミー、ブレイン株式会社、株式会社フォトライフ、株式会社図書出版、株式会社JTB、尚美学園大学、昭和音楽大学

楽器提供：株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社こおろぎ社

報告：2020年第22回日本ジュニア管打楽器コンクール本選考会の開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症に伴い、不特定経路の感染と有効な治療薬や対処法が見通せない中、政府・関係省庁・各行政の新型コロナウイルスに関連した感染症対策の方針を受け、日本ジュニア管打楽器コンクール運営委員会にて、出演者及び関係者の皆様の健康と安全を第一に考慮した結果、2020年第22回日本ジュニア管打楽器コンクール本選考会開催を中止する判断とした。

名称：No. 6「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

目的：作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、ま

だ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。そこで私どもは、あるテーマ（課題）を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実的な方法で、優れたサウンドクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンテストの企画化を目指し、今までに在るようで無かった… こんなサウンドクリエイターのコンテストがあったら… というコンテストを開催します。

内 容：「2019年度 第7回サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

課 題：「スポーツをテーマにした架空のアニメ・ゲームのための音楽」

応募期間：2019年12月09日（月）～2020年1月14日（火）

応募方法：財団ホームページによるオンライン応募

選考期間：2020年1月27日（月）～2020年2月25日（火）PCによるデータ審査

表彰式：財団ホームページによる結果発表

運 営：顧問 赤松 昌代（本公益財団理事長）
運営委員長 佐々木 隆一（本公益財団理事）
実行委員長 松尾 祐孝（本公益財団理事／音楽プランナー）
実行副委員長 松井 朋巳（本公益財団理事／ホームページ&広報担当）
実行委員 佐藤 旬（ホームページ&広報担当）
審査員 渡辺 俊幸（作曲家・編曲家）
審査員 YOFFY（作曲家・歌手）
審査員 山下 康介（作曲家・編曲家）
審査員 堀内 大示（株式会社KADOKAWA 執行役員）
審査員 松尾 祐孝（本公益財団理事／音楽プランナー）

協 力：リード エグジビション ジャパン株式会社

後 援：一般社団法人日本作編曲家協会、一般社団法人日本作曲家協議会、特定非営利活動法人日本現代音楽協会

報 告： ■グランプリ 藪井 佑介（フリーランス）

□作品名：「KARATEDO ～碧き祈り～」

○プロフィール

1990. 4歳でYAMAHAの電子オルガン「エレクトーン」を習い始める。2004. 12[受賞]18歳でYAMAHAエレクトーンコンクール全日本大会グランプリ受賞。2015. 4～2017. 3山陽放送ラジオ音楽番組「RSK音泉アワー」のパーソナリティを務める。2016～2019日本遺産特別史跡旧閑谷学校にて毎年11月紅葉の中でのコンサート開催。2017世界初5次元キーボード（英国ROLI Seaboard）に取り組み、世界でも数少ない奏者・作曲家として活動を始める。2019年8月オフィシャル・アーティストとなる。2018. 6[受賞]世界182カ国のジャズ・フュージョン系アーティストが競う「Lee Ritenour's Six String Theory Competition」ピアノ部門で世界第6位タイ受賞。2018. 8備前市「ひなせみなとまつり花火大会」にて海上花火と音楽のコラボレーションのための楽曲を書き下ろし、あらたなスタイルの花火大会を演出、観客を沸かす。2018. 10“宙”をたたいて音を奏でる最先端電子楽器「AR楽器（拡張現実楽器）」に取り組み、岡山ルネスホールでのソロコンサートで初披露。2019. 3[受賞]サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー2019のファイナリストとなる。2019. 10伝統と革新をテーマに、邦楽囃子奏者・望月太津友氏（鼓）との創作曲「リベルタンゴ×鷺娘」ほか伝統芸能継承者とのコラボ・コンサートを開催。福武教育文化財団助成。2019. 12世界的科学技術者で

プラネタリウム・クリエイター大平貴之氏開発の MEGASTAR が映し出す一千万個の星降る空間で音楽と科学技術のコラボレーション・コンサートを開催。

■準グランプリ XENO SPIRIT (株式会社テクロス)

□作品名：「JAMP MAN」

○プロフィール

オーケストレーションを得意とし、様々なジャンルの楽曲制作を行う松尾怜奈と、国内メタルシーンで活躍する働哭のギタリスト、Jaw こと城野数馬によるメロディアスかつヘヴィな音楽制作ユニット。

松尾怜奈：1991年生まれ、大阪府出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。TIAA 第11回全日本作曲家コンクール入選。第23回京都フランス音楽アカデミー奨励賞。TV音楽やイベント音楽での活動を経て、現在はソーシャルゲームの楽曲制作現場で活躍中。

城野数馬：1991年生まれ、京都府出身。ESPエンタテインメント大阪サウンドクリエイター科卒。メロディックデスメタルバンド、Nameless Oneの作曲・ギタリスト・マネージャーを務める。バンドでの全国的な活動やアイドルへの楽曲提供を経て現在はソーシャルゲームの楽曲制作現場で活躍中。活動していないときはラーメンを食べ過ぎている。

■準グランプリ 前田 哲 (フリーランス・音楽講師)

□作品名：「Moon River」

○プロフィール

中学に入りシンセサイザーで作曲をはじめ。大学からピアノ・ギター・ボーカルでライブ活動をする。クレオファーガ優秀賞受賞。フリー素材BGMサイト「おとのおと <https://www.oto-note.net>」を運営しながら、作曲業とボイストレーニング・ピアノの音楽講師を兼業中。

■ファイナリスト 神出 高志 (MusicFreaks)

□作品名：「女神たちの理不尽なプロット」

○プロフィール

6歳よりクラシックピアノを始める。学生時代にJazzピアノを始めその後、本格的に学ぶために渡米、ピアノをBilly Taylor、音楽理論をTed Dubarに学ぶ。NHK番組や第一興商の依頼で音楽制作を行う。半野喜弘の映画音楽制作に参加。2015年よりプライベートスタジオにて自作曲を制作、iTunes、Amazon、Spotify等で配信。2018年、MusicFreaksを設立。音楽制作、素材の販売を開始する。KORG Gadgetを使った作曲コンテスト「Gadget Sonic 2018」にて最優秀賞を獲得。

■ファイナリスト 栗子 洋平 (フリーランス)

□作品名：「One for all all for one」

○プロフィール

CM音楽をメインに、TV番組やコンシューマゲームからソーシャルゲームなど幅広く制作をさせて頂いております。まだこれといった経歴などはないですが、将来は、映画のトレーラーミュージックを中心に作曲活動をするのが目標です。

■ファイナリスト 田山 里奈 (東京音楽大学)

□作品名：「Chronicle-侍-」

○プロフィール

3歳で音楽教室に入り6歳から本格的にピアノの勉強をし始める。高校1年生から和声とソルフェージュの勉強を始め、2016年に東京音楽大学作曲指揮専攻映画・放送音楽コースに入学。現在4年在学中。

■ファイナリスト 徳田 しずか（フリーランス）

□作品名：「Before Dawn」

○プロフィール

「株式会社スイートルーム音楽配信サイト250music」所属作曲家。「iTunes Store」「LINE MUSIC」より制作音楽配信中。創作舞踊劇音楽、劇中歌、映像のBGM、シンガーソングライターの楽曲、バレエ音楽等の舞台音楽作曲。鍵盤奏者としても活動している。・2015年ヤマハ主催23歳以下の日本最大級の音楽コンテスト～The 10th Music Revolution（ミューレボ）にてオリジナルバンド「祝！世田谷サロン」（作詞作曲・keyvo）で参加・九州沖縄ファイナルへ。バレエ公演にてクロード・ドビュッシー5曲ピアノ演奏。・2016年創作舞踊劇『ガジューター ケンムンの住む島奄美（かごしま文化維新プロジェクトACT主催）』音楽制作2曲とピアノ演奏で参加。・2017年バレエ公演オーケストラ音楽「ビジュア」7つの組曲楽曲提供。・2018年「SATSUMA 城山物語2018（主催：鹿児島県、リーディングプロジェクト創造事業企画委員会）」楽曲提供。プロジェクトroute.c主催第二回公演『ぼくらの箱庭』劇中歌作編曲。・2019年「奄美 de アート国際フェスティバル（主催：奄美 de アート実行委員会）」楽曲提供。バレエ公演のオーケストラ音楽「Meeting Place」等8曲楽曲提供。「サウンドクリエイター・オブ・ザ・イヤー2019（日本音楽教育文化振興会主催）」ファイナリスト。

公3事業：音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

名 称：No. 7「全日本市民バンドフェスティバル」

目 的：全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会を行う。

内 容：「2019年度 第12回全日本市民バンドフェスティバル」（開催）

2019年12月22日（日）13：00～18：00

会 場：尚美ミュージックカレッジ専門学校 バリオホール

共 催：一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

協 賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社、株式会社JTB、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

特別協力：尚美ミュージックカレッジ専門学校

報 告：出演団体 計8団体

神奈川県立生田東高等学校吹奏楽部、早稲田大学高等学院吹奏楽部、板橋区立志村第四中学校、やまももシンフォニックバンド、東京都立国際高等学校ウインドアンサンブル部、松戸市立松戸高等学校吹奏楽部、昭和学院中学校高等学校・千葉県立流山南高等学校、CHIBA TRAILBLAZERS

名 称 : No. 8 「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

(略称 : イムスタ International Music Software Trade Association)

目 的 : 違法コピーが蔓延している昨今、2008 年の IMSTA 委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となる。

内 容 : ①Facebook での普及啓蒙活動の実施

啓蒙活動予定 : イベントプロモーションを行う。

<https://www.facebook.com/IMSTAJapan>

②広報活動

IMSTA JAPAN ホームページを通じた普及啓蒙活動及び媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材及び WEB への掲載。

<http://www.imsta.org/japan/index.php>

③ ヤフーオークション他への IMSTA 委員会としての団体参加。違法コピー商品のオークション掲載の即時掲載削除を実施する。

④ 店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。